

臨床免疫学Ⅱ

Clinical Immunology Ⅱ

単位数：5 単位

○山崎 修 教授：皮膚科学
千貫祐子 准教授：皮膚科学

1. 科目の教育方針

臨床免疫学の講義・演習では、免疫学的機序により起こる種々の疾患について理解を深めるだけでなく、自己免疫疾患やアレルギー性炎症の発症機序や病態形成に至る過程を分子生物学的な観点から解析し、問題解決能力を身につけることを到達目標とする。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 臨床免疫学に関する知識を、免疫化学、免疫病理、分子免疫の立場から理解する。
- 2) 免疫異常に起因する疾患の病態を理解し、説明することができる。
- 3) 免疫異常に起因する病態の解析法を理解し、応用できる。

各担当者による講義内容の詳細

- ① 山崎：臨床免疫学一般に関する最新情報の提供
- ② 山崎：アレルギー性皮膚疾患（蕁麻疹、薬疹）の病態と対策
- ③ 千貫：アトピー性皮膚炎の病態
- ④ 千貫：食物アレルギーの病態と原因物質の探索法
- ⑤ 山崎：アトピー性皮膚炎の治療
- ⑥ 山崎：自己免疫疾患の病態と診断

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 臨床免疫学に関する解析法を理解し、臨床免疫学の学術論文が読める。
- 2) 免疫異常に起因する疾患についてその病態が説明できる
- 3) 自己免疫疾患に関する臨床研究を立案できる。
- 4) アレルギー性疾患の病態解析に関する臨床研究を立案できる。

3. 教育の方法、進め方

指導教官あるいは研究助手、年長の学生から実験手技を学ぶ。講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって教育の進捗状況を確認する。講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度

を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献 (担当者推薦)

- 1) 臨床アレルギー学 アレルギー専門医・認定医研修のために 改訂第2版
宮本昭正 監修 南江堂 1998. (山崎)
- 2) 標準皮膚科学 岩月啓氏 監修 医学書院 第11版 (山崎)

Related International Journals recommended:

Journal of Allergy and Clinical Immunology

Journal of Immunology

Allergy

Clinical Experimental Allergy

Nature Immunology

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	臨床免疫学 概論 ー病態の理解に必要な免疫学の基本知識ー	山崎 修
2	臨床免疫学各論 1 (病態)	山崎 修
3	臨床免疫学各論 2 (解析法)	山崎 修
4	アレルギー性蕁麻疹の病態と対策	山崎 修
5	アレルギー性疾患の疾患感受性遺伝子の探索	山崎 修
6	アトピー性皮膚炎の病態 1	千貫祐子
7	アトピー性皮膚炎の病態 2	千貫祐子
8	食物アレルギーの病態	千貫祐子
9	食物アレルギーの抗原解析	千貫祐子
10	アトピー性皮膚炎の治療 1	千貫祐子
11	アトピー性皮膚炎の治療 2	千貫祐子
12	薬疹の病態と病型	山崎 修
13	薬疹の原因検索	山崎 修
14	皮膚の自己免疫性疾患 1	山崎 修
15	皮膚の自己免疫性疾患 2	山崎 修